

# 完了報告書

記入年月日 2026 年 2 月 13 日

採択団体名 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 地域強靱化研究センター

## ■事業概要



基本情報	
事業名	災害証言記録からみんなで学ぶコミュニティ防災教育
事業内容	事業内容①:災害証言動画の拡充 事業内容②:こども防災会議の開催 事業内容③:ジオ防災まちあるきの開催 事業内容④:香川県・高松市が主催するコミュニティ防災教育機会での活用 事業内容⑤:防災ソング「そなえたらこわくない」の普及
事業背景	平成 26 年 4 月より地区防災計画制度が施行され、地域コミュニティにおいて企業や行政等との連携による防災活動が益々活発化している。防災活動の実施においては、過去の災害から学び、将来起こり得る災害に対する備えや地域社会での支え合いをあらゆる主体が連携して実践する必要がある。このような実践を広く展開するためには、様々な主体を対象とした防災意識の向上策が求められている。
コミュニティ 設立の経緯	申請者である香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構では、連携自治体先である香川県や県内 17 市町とともに、県内学校園で南海トラフ地震や極端気象発生メカニズム、想定される被害と対策、地域コミュニティと学校の連携等の防災教育活動を実施してきた。また、地域コミュニティにおける地区防災計画活動や防災訓練等の場において地域の地理的特性やまちの現状を把握する防災まち歩き等を実施してきた。 また、南海トラフ地震による甚大な被害を想定した BCP(事業継続計画)・DCP(地域継続計画)推進を目的に「香川地域継続検討協議会」を平成 24 年に設立し、香川地域における国・県・市町等の行政機関や企業との連携を推進している。
本事業に関する過去の 取り組み内容	申請者は、下記に示す防災教育を実施しており、連携団体である香川県や県内市町と児童・生徒や一般住民、学生、企業等を対象とした様々な防災教育を実施してきた。 ・小学校を対象とした南海トラフ地震に関する防災教育の実施 ・防災ソングの作成と普及啓発 ・さぬきっ子防災リーダー養成講座 ・子ども防災会議の開催 ・ジオ防災まちあるきの実施 ・災害証言動画の公開 ・防災教育に関わる各種イベントの開催 ・企業に対する BCP 普及勉強会の開催 ・防災士養成講座(学生・社会人) ・学生・社会人を対象とした大学院プログラム「四国防災危機管理プログラム」の開催 ・外国人学生を対象としたさくらサイエンスプログラムの実施 ・学部生への防災・危機管理に関する講義の提供 等
事業体制	・香川県危機管理総局危機管理課:事業内容④の実践 ・高松市総務局危機管理課:事業内容①に関する知見の提供と住民照会、事業内容④の実践 ・小豆島町役場総務課危機管理室:事業内容①に関する知見の提供、事業内容③の実践 ・香川地域継続検討協議会:事業内容①に関する普及展開

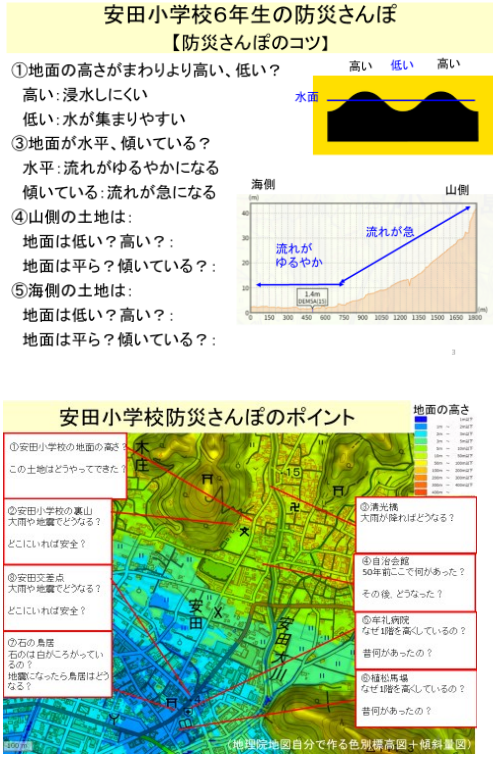
<p>全体スケジュール</p>	<p>(例)調整や打ち合わせ等、採択前の活動がある場合はそちらも記載すること          &lt;9月～10月&gt;          ・かがわ防災フェスタにてコミュニティ防災教育実践          ・香川大学防災Instagramにて災害証言記録の配信          ・災害証言記録収集活動を開始          ・香川県公式防災LINEで災害証言記録の配信          ・高松市防災フェアにてコミュニティ防災教育実践          &lt;11月～12月&gt;          ・かがわ防災意識向上プロジェクト(香川県内商業施設で開催)にてコミュニティ防災教育実践          ・こども防災会議(香川大学)の開催          ・土木学会海岸工学講演会(高松開催)一般公開セッションにてコミュニティ防災教育実践          ・香川大学ダイバーシティ&amp;インクルージョンフェスタにてコミュニティ防災教育実践          ・自主防災組織リーダー研修会(香川県)にてコミュニティ防災教育実践          ・ジオ防災まち歩き(小豆島)の開催          ・災害証言記録を活用したコミュニティ防災教育ガイド教材の作成着手          ・災害証言記録収集活動を継続          ・中間報告書作成          &lt;1月～2月&gt;          ・振り返りを実施し、成果報告書作成</p>
<p>事業目標・事業成果</p>	
<p>事業目標全般 (教育提供者側)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香川県の既往災害の継承を目的とした災害証言動画の拡充(証言者4名分)</li> <li>・児童生徒を対象とした防災教育の実践</li> <li>・香川県民を対象とした防災教育の実践</li> </ul>
<p>事業成果全般 (教育提供者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害証言動画の拡充(証言者4名分を収集)</li> <li>・子ども防災会議(参加児童11名、保護者10名)の開催と動画活用1回</li> <li>・ジオ防災まち歩きの開催(参加児童15名)と災害教訓伝承1回</li> <li>・香川県が主催するコミュニティ防災教育機会での動画活用3回、香川県公式防災LINE(登録者約4,500名)での動画配信、高松市が主催するコミュニティ防災教育での動画活用1回、Instagramアカウント(カダイ防災ラボ)での配信(合計視聴回数約500回)</li> <li>・防災ソング「そなえたらこわくない」の普及3回</li> </ul>
<p>事業目標全般 (参加者側)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒:香川県の既往災害に対する理解促進と主体的な学びの促進</li> <li>・一般住民:香川県内の災害教訓の継承と防災活動への活用</li> </ul>
<p>事業成果全般 (参加者側)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒:香川県内の既往災害に対する理解促進と主体的な学びの場の享受</li> <li>・一般住民:香川県内の災害教訓の継承と防災活動への活用</li> </ul>
<p>展開できる 知見やノウハウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既往災害に関する情報収集と公開方法</li> <li>・コミュニティ防災教育での具体的な活用シーン</li> <li>・学術機関と行政機関における地域防災における連携ノウハウ</li> </ul>


<p>コミュニティ防災教育の重要な観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者に応じた適切な教育を適切なタイミング提供できるよう、関係団体との協力関係を構築しておくこと。</li> <li>・関係団体が実施している各種事業を相互に理解しておくこと。</li> </ul>
<p>残課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の有する防災教育コンテンツの効果的な社会還元方法</li> <li>・引き続きの災害証言の収集と普及啓発</li> </ul>

■事業内容

事業内容① 災害証言動画の拡充	
事業内容①目標 (提供者側)	昭和49年・51年小豆島豪雨、平成16年高潮いずれかの災害証言記録を1名作成する。昭和21年に発生した昭和南海地震の被災者を対象に3名程度の災害証言記録を作成・公開する。 本事業の成果を活用し、災害証言動画を活用したコミュニティ防災教育のガイド教材を作成する。
事業内容①目標 (参加者側)	・児童生徒：香川県の既往災害に対する理解促進 ・一般住民：香川県内の災害教訓の継承と防災活動への活用
事業内容① 災害証言動画収 集・動画作成 (実施日： 11/25、12/8、 12/25)	<p>■具体的な取り組み内容 事業内容①の概要を文章ベースで記載 昭和49年・51年小豆島豪雨、平成16年高潮いずれかの災害証言記録を1名作成する。昭和21年に発生した昭和南海地震の被災者を対象に3名程度の災害証言記録を作成・公開する。</p> <p>■成果(提供者) 事業内容①の成果や結果を文章ベースで記載 高松市役所からの調整により証言記録対象者を選定。平成16年高潮災害1名、昭和21年昭和南海地震6名(2名+2組)を紹介いただき、この内平成16年高潮災害1名、昭和21年昭和南海地震2名について撮影を行った。高松市二番丁コミュニティセンターから紹介いただき、南海地震体験者の藤本さん・田村さんの撮影を行った。合計4組について公開可能なように動画の編集を行い公開した。 防災教育としての活用に資する、教材を作成した。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あなたも家族と離れて暮らしている男性になったつもりで考えてみよう！</p> <p>家族が住んでいる地域では雨がずっと降り続いており、避難の情報が出ています。しかし家族との安否確認が取れずとも心配で家族の家に車で向かおうとしました。しかし、途中の道が土砂崩れて一部ふさがっておりその先の道も危険な様子です。あなたはどうしますか？</p> <p>A：家族が心配だからその道を進んで迎えに行く B：迎えに行くのを諦めて家族からの安否を待つ</p> </div> <p>動画視聴とセットで活用する演習教材</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-end;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>2025/11/25 撮影 角田さん <a href="https://youtu.be/cOXnBW505qM">https://youtu.be/cOXnBW505qM</a></p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>2025/12/8 撮影 森さん <a href="https://youtu.be/h1nLDwVyo_0">https://youtu.be/h1nLDwVyo_0</a></p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>2025/12/8 撮影 長崎さん <a href="https://youtu.be/e4buN3tbFZI">https://youtu.be/e4buN3tbFZI</a></p> </div> <div>  <p>2025/12/25 撮影 藤本さん・田村さん <a href="https://youtu.be/mdMDJYgmac">https://youtu.be/mdMDJYgmac</a></p> </div> </div>

<p>事業内容①を実施する中で発生した課題や失敗点</p>	<p>■発生した課題や失敗点 南海地震は80年前に発生した災害であり、証言動画対象者が限られる。</p> <p>■乗り越えた方法 地域の実情に詳しいコミュニケーションセンターや自治会長から紹介をいただいた。SNSで募集を呼びかけた。</p>	
<p>事業内容①を実施する上で工夫した点</p>	<p>南海地震を対象とした証言動画は、80年前の記憶であり対象者に負担がかかることが想定されることから、数分程度の動画とした。</p>	
<p>事業内容① 残課題等</p>	<p>特になし</p>	
<p>事業内容② こども防災会議の開催</p>		
<p>事業内容②目標 (提供者側)</p>	<p>香川県内の小学5・6年生を対象に、防災の未来社会を考える「こども防災会議」を開催する。こども防災会議では、地域コミュニティの共助を考える議題とし、学習教材として災害証言記録を活用する。</p>	
<p>事業内容②目標 (参加者側)</p>	<p>・香川県の既往災害や南海トラフ地震に対する理解促進と主体的な学びの促進</p>	
<p>事業内容② 実施内容</p> <p>基礎講座「南海トラフ地震対策」 (実施日: 11/16)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 香川大学金田特任教授による基礎講座を実施した。映像等を用い、地震のメカニズム等についての説明を行った。</p> <p>■成果(参加者) 11名受講者全員が南海トラフ地震に関する知識が「深まった」と回答。</p>	
<p>事業内容② 実施内容</p> <p>未来の防災アイテムを考える(グループワーク) (実施日: 11/16)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 事業内容②の概要を文章ベースで記載 3~4人の班に分かれ、未来の防災アイテムについて意見を出し合い、班ごとにプレゼンテーション形式での発表を行った。</p> <p>■成果(参加者) 未来的視点の重要性を学び、グループ内で議論することにより、主体的に学ぶことができた。 発表を行うことでプレゼンテーションスキルも向上した。</p>	

<p>事業内容②を実施する中で発生した課題や失敗点</p>	<p>■発生した課題や失敗点 ・特になし ■乗り越えた方法 ・特になし</p>
<p>事業内容②を実施する上で工夫した点</p>	<p>・グループごとの発表に関し、順位をつけるのではなく、様々な名称の賞を用意することで、参加者のモチベーションアップに繋がった。</p>
<p>事業内容②残課題等</p>	<p>・参加者の募集方法</p>
<p>事業内容③ ジオ防災まち歩きのカ開催</p>	
<p>事業内容③目標 (提供者側)</p>	<p>小豆島町の小学生を対象に、ジオと防災の視点から防災まち歩きを実施する。学習教材として災害証言記録を活用する。</p>
<p>事業内容③目標 (参加者側)</p>	<p>・香川県の既往災害に対する理解促進と主体的な学びの促進</p>
<p>事業内容③ 小豆島町立安田小学校 6 年生防災さんぽ(実施日:11/13)</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>■具体的な取り組み内容</p> <p>【小豆島町立安田小学校 6 年生防災さんぽ】  (1)実施日:2025 年 11 月 13 日(木)  (2)スケジュール:  8:30-9:00 ①直前打ち合わせ(全員)  9:25-9:35 ②ガイダンス(長谷川)  9:45-10:30 ③防災さんぽ(全員)  10:40-11:00 ④ふりかえり(長谷川)  11:00-11:05 ⑤おわりのあいさつ(全員)  (3)参加者:  香川大学危機管理機構:長谷川修一、高橋真里  香川県防災士会:山西輝美、寿敬太郎、向井明  小豆島町総務課危機管理室 寶田係長、岡主任  生涯学習課 山本主管、真砂主査、岡本主事  小豆島町立安田小学校:林宗利校長  6 年生の児童 15 名  (4)実施内容  ①直前打ち合わせ  10 月 31 日に林校長、寶田係長らと下見をした結果に基づき、まち歩きの地点と地点間の移動方法を確認した  ②ガイダンス。  【ねらい】についての説明をした。  ・自分たちがどんな土地に住んでいるかを知る。  ・その土地おける過去の災害の話聞いてみる。</p> </div> <div style="flex: 1;">  <p><b>安田小学校6年生の防災さんぽ</b> 【防災さんぽのコツ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地面の高さがまわりより高い、低い? 高い:浸水しにくい 低い:水が集まりやすい</li> <li>③地面が水平、傾いている? 水平:流れがゆるやかになる 傾いている:流れが急になる</li> <li>④山側の土地は: 地面は低い?高い? 地面は平ら?傾いている?:</li> <li>⑤海側の土地は: 地面は低い?高い? 地面は平ら?傾いている?:</li> </ol> <p><b>安田小学校防災さんぽのポイント</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①安田小学校の地面の高さ この土地はどうやってできた?</li> <li>②安田小学校の裏山 大雨や地震でどうなる? どこにいれば安全?</li> <li>③安田交差点 大雨や地震でどうなる? どこにいれば安全?</li> <li>④石の鳥居 石のは白がらっているの? 地震になったら鳥居はどうなる?</li> <li>⑤清流橋 大雨が降ればどうなる?</li> <li>⑥自治会館 50年前ここで何があった? その後、どうなった?</li> <li>⑦牟礼病院 なぜ地盤を高しているの? 昔何があったの?</li> <li>⑧緑松橋 なぜ地盤を高しているの? 昔何があったの?</li> </ol> <p>(地理院地図自分で作る色別標高図+傾斜量図)</p> </div> </div>

	<p>・災害後、先人たちがまちをどのように復興したかを学ぶ。  <b>【防災さんぼのコツ】</b>、コースとポイントについて説明した(右図参照)  <b>③防災さんぼの実施</b></p> <p><b>④ふりかえり</b>      図と写真を使って防災さんぼの振り返りを行った。</p> <p><b>⑤おわりのあいさつと感想文の作成</b>      後日、15名の感想文を送付いただいた。</p> <p><b>■成果(提供者 or 参加者)</b></p> <p><b>(1)提供者に対しての成果</b>      ジオの視点による小学生高学年向けの防災まち歩き方法に関するノウハウを蓄積することができた。</p> <p><b>(2)参加者に対しての成果</b>      安田小学校教員だけでなく、小豆島町役場職員にとって地域の大地の成り立ち(ジオ)から、地域の災害特性、過去の災害の歴史だけでなく、災害からの復興の歴史を学ぶことができた。      また、参加した児童の感想文から、以下の成果を確認することができた。      ・災害を自分ごととして受け止めることができるようになったようである。      ・災害を乗り越えた先人の努力に感謝できるようになったようである。</p>	<p style="text-align: center;"><b>II 防災さんぼのふりかえり</b></p>  <p><b>【感想文の一例】</b></p> <p>今日、防災散歩をして、約五十年前くらいに起きた災害のことや、当時の写真、今も残る大きな災害の爪痕などたくさんのことを学びました。振り返りでは、災害でできた観光名所などや、ダムの役割、もし災害が起きた時の避難場所などについて考えさせられました。      私たちは実際に災害に巻き込まれたことはないけれど、この経験を通して、改めてハザードマップで避難経路を確認したり、避難用のバックがどこにあるかなど考え直したいです。</p>
<p>事業内容③を実施する中で発生した課題や失敗点</p>	<p><b>■発生した課題や失敗点</b>      50年前の災害の状況をどのようにイメージするかが課題であった。</p> <p><b>■乗り越えた方法</b>      50年前に役場が撮影した写真を、A3版に拡大して掲示した。また、当時に災害を体験した住民に話してもらったことによって、災害を身近に感じるようにした。</p>	
<p>事業内容③を実施する上で工夫した点</p>	<p>ハザードマップの色分けだけでなく、土地の高低を歩くことによって体感し、土地の違いと災害との関係を理解できるように工夫した。</p>	
<p>事業内容③      残課題等</p>	<p>特になし</p>	

事業内容④ 香川県、高松市が主催するコミュニティ防災教育機会での災害証言動画の活用

<p>事業内容④目標 (提供者側)</p>	<p>地域防災リーダーやコミュニティを対象とした防災教育機会において災害証言記録を活用する。</p>	
<p>事業内容④目標 (参加者側)</p>	<p>香川県内の災害教訓の継承と防災活動への活用</p>	
<p>事業内容④ 実施内容  香川県防災センターでの放映 (実施日:11/15 ~)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 香川県防災センターにおいて、毎週土日祝の営業時間内で、災害証言動画を放映し、普及啓発を行う。</p> <p>■成果(参加者) 平均45人/日の来場者に対し、災害証言動画の存在の周知、内容の理解を行った。</p>	
<p>事業内容④ 実施内容  商業施設イベントでの放映 (実施日: 11/22)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 香川県主催で実施された商業施設での防災イベントにおいて、災害証言動画を放映し、参加者への普及啓発を行う。</p> <p>■成果(参加者) 230人が来場し、災害証言動画の存在の周知、内容の理解に繋がった。</p>	
<p>事業内容④ 実施内容  商業施設イベントでの放映 (実施日: 12/23)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 香川県主催で実施された商業施設での防災イベントにおいて、災害証言動画を放映し、参加者への普及啓発を行う。</p> <p>■成果(参加者) 343人が来場し、災害証言動画の存在の周知、内容の理解に繋がった。</p>	

<p>事業内容④ 実施内容</p> <p>香川県公式防災 LINE での配信 (実施日:12/2)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 香川県公式防災 LINE アカウントで動画の配信を行った。</p> <p>■成果(参加者) 登録者数 4500 人に配信。</p>	
<p>事業内容④ 実施内容</p> <p>高松市仏生山防災フェアでの放映 (実施日:10/26)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 高松市主催で実施された防災イベントにおいて、災害証言動画を放映し、参加者への普及啓発を行った。</p> <p>■成果(参加者) 100 名ほどの子育て世帯から高齢者など様々な住民へ普及を行った。</p>	
<p>事業内容④ 香川大学危機管理シンポジウムでのコミュニティ防災教育の実践 (実施日:10/28)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 香川大学が主催した危機管理に関するシンポジウムで災害証言動画を放映し、参加者への普及啓発を行った。</p> <p>■成果(提供者・参加者) 香川大学において防災教育をテーマにしたシンポジウムを開催。災害証言動画について紹介を行い、参加者へ視聴頂いた。香川県民、企業、行政、研究者、教員等の対面 82 名・オンライン 90 名合わせて 172 名が参加した。参加者へのアンケート結果では、79%が内容について「満足」と回答しており、感想では「・防災教育に関する様々な立場からの事例を聴くことができ、自身の地域の現状や今後の取り組みへのヒントが見え大変参考になりました。」「・地域住民、小学生への防災活動・教育手伝いにおいて、マンネリ化してきていると感じつつ、より良い方法が思いつかず、どうしたものかと思っていたのですが、良いヒントを頂きました。地元小学校への防災訓練を毎年実施しているのですが、視点を変えて考えてみます。」などが得られた。</p>	

事業内容④  
土木学会海岸工  
学講演会でのコ  
ミュニティ防災教  
育の実践  
(実施日:  
11/25)

- 具体的な取り組み内容  
土木学会海岸工学講演会(高松開催)一般公開セッションにて、既往研究で作成した平成16年高潮災害に関する災害証言動画の放映を行った。
- 成果(提供者・参加者)  
同講演会では、「四国の沿岸防災と危機管理」をテーマに専門家によるセミナーが開催された。同講演会では、対面・オンライン合わせて土木学会員、一般の340名の参加が得られ動画を視聴した。

2025年度 香川大学危機管理シンポジウム

## レジリエントな地域を創る防災教育

～人口減少と巨大災害に負けないため、防災教育について一緒に考えてみませんか!～

令和7年 10月28日(火) サンポートホール高松 オンライン  
13:00～16:45 (12:30開場) 第1小ホール(ホール棟4・5階)

本講演会の開催により、防災意識の向上に貢献するものと期待しております。ぜひ多くの方のご参加をお願いします。

**プログラム**

- 13:00～13:05 主催者挨拶
- 13:05～13:20 上記 開会 香川大学 広報センター
- 13:20～13:30 特別講演 国土交通省 国土政策局長 藤田洋平
- 13:30～13:45 加藤 善孝 香川大学 危機管理センター 所長
- 13:45～14:00 会場 香川 地域防災センター 所長 特別発表
- 14:00～14:15 特別講演 国土交通省 国土政策局長 藤田洋平
- 14:15～14:30 加藤 善孝 香川大学 危機管理センター 所長
- 14:30～14:45 会場 香川 地域防災センター 所長 特別発表

**パネルディスカッション (14:30～16:45)**

テーマ: 学校と地域が元気になる防災教育

**コーディネーター**  
長谷川 聡一 危機管理先端研究センター 特別教授

**パネリスト**  
藤田 一之也 国土交通省国土政策局長 特別講演  
加藤 善孝 香川大学 危機管理センター 所長  
山田 航大 香川大学 危機管理センター 特別発表  
藤井 千穂子 危機管理先端研究センター 特別発表

**司会進行** 14:45～14:55  
加藤 善孝 香川大学 危機管理センター 所長

**特別発表** 14:55～16:45  
加藤 善孝 香川大学 危機管理センター 所長

主催: 香川大学 危機管理推進委員会 研究・地域連携推進機構  
共催: 国土交通省 国土政策局長 藤田洋平  
協賛: 香川大学 危機管理センター 香川大学 危機管理センター 香川大学 危機管理センター  
協賛: 香川大学 危機管理センター 香川大学 危機管理センター 香川大学 危機管理センター  
協賛: 香川大学 危機管理センター 香川大学 危機管理センター 香川大学 危機管理センター  
協賛: 香川大学 危機管理センター 香川大学 危機管理センター 香川大学 危機管理センター

第72回  
海岸工学講演会



主催  
公益社団法人土木学会  
(担当: 海岸工学委員会)

後援  
国土交通省四国地方整備局、香川県、高松市、  
香川大学創造工学部、香川大学四国危機管理  
教育・研究・地域連携推進機構

【会場案内】  
企業展示 : かがわ国際会議場 (タワー棟6階)  
講演会受付 : かがわ国際会議場 (タワー棟6階)  
第1会場 : かがわ国際会議場 (タワー棟6階)  
第2会場 : 61会議室 (ホール棟6階)  
第3会場 : BBスクエア (タワー棟4階cとびあ)  
第4会場 : 54会議室 (ホール棟5階)  
第5会場 : 第1小ホール (ホール棟4階)  
ランチタイムイベント・委員会等 : 62～67会議室  
大会本部 : 64会議室 (ホール棟6階)



<p>事業内容④ 実施内容</p> <p>Instagramアカウント(カダイ防災ラボ)での災害証言動画配信 (実施日:11/7~1/31)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 Instagramアカウントで災害証言動画を順次配信する。</p> <p>■成果(参加者) 12~1月にかけて3本の災害証言動画を投稿し、合計約500回再生された。</p>	 <p>sonaetara_kowakunai sonaetara_kowakunai・オリジナ...</p> <p>6 2</p> <p>sonaetara_kowakunai 【災害証言動画#1】</p> <p>今回の動画は昭和49年に発生した小豆島土砂災害に被災した当時旅館業をされていた浜口夫婦の証言動画です。</p> <p>あの日、何が起きていたのか。そして、どう行動したのか。</p> <p>実際に災害を経験した方の「声」には、どんなマニュアルにも書かれていないリアルがあります。</p> <p>動画を見ることで— ・自分の地域で起きたら?と考えるきっかけになる ・“備える理由”が自分の言葉で理解できる—</p>
<p>事業内容④を実施する中で発生した課題や失敗点</p>	<p>■発生した課題や失敗点 特になし</p> <p>■乗り越えた方法 特になし</p>	
<p>事業内容④を実施する上で工夫した点</p>	<p>香川大学、連携主体が個別に実施している各種イベントで動画を活用するよう、本事業開始当初に聞き取りを行った。</p>	
<p>事業内容④ 残課題等</p>	<p>特になし</p>	
<p>事業内容⑤ 防災ソング「そなえたらこわくない」の普及</p>		
<p>事業内容⑤目標 (提供者側)</p>	<p>防災啓発を目的に香川大学で制作された「そなえたらこわくない」をコミュニティ防災教育の場で活用する。</p>	
<p>事業内容⑤目標 (参加者側)</p>	<p>■防災教育の参加者(地域への波及効果、学生の理解度等) 香川県の災害特性に対する理解促進と備えに関する啓発</p>	

<p>事業内容⑤ 実施内容 かがわ防災フェスタでの演奏 (実施日:9/27)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 かがわ防災フェスタにおいて、お昼休みの時間に屋内訓練場にて防災ソングの演奏を行い、普及啓発に繋げる。</p> <p>■成果(参加者) 来場者約 2,000 人に対し、防災ソングに触れる機会を創出し、普及啓発に繋げた。</p>	
<p>事業内容⑤ 実施内容 たぐま防災フェスタでの放映 (実施日: 11/24)</p>	<p>■具体的な取り組み内容 たぐま防災フェスタにおいて、南海トラフ地震に係る講話後に、防災ソング(動画)を放映し、普及啓発を行う。</p> <p>■成果(参加者) 参加者約 40 名に対し、防災ソングの存在の周知を行った。</p>	

事業内容⑤

実施内容

香川大学ダイバーシティ&インクルージョンフェスタでのコミュニティ防災教育の実践  
(実施日:12/17)

■具体的な取り組み内容

香川大学で実施したダイバーシティ&インクルージョンフェスタにおいて、金田教授による地震防災の講演の後、防災ソング(日本語・英語)を披露し、普及啓発を行った。

■成果(提供者・参加者)

学生、研究者、外国人を含む一般住民などの参加者約84名(対面57名・オンライン27名)に対し、地震防災に関する講義と防災ソングの普及啓発を行った。

日本語版もやさしい日本語の歌詞であるが、英語版では多様な主体に防災の必要性を啓発するより効果的な機会となった。

また、香川大学防災インスタグラムアカウント(カダイ防災ラボ)でも配信を行った。



金田教授による南海トラフ地震講義



MillyRise 氏による防災ソング(英語)



インスタグラムアカウント(カダイ防災ラボ)での配信

事業内容⑤を実施する中で発生した課題や失敗点

■発生した課題や失敗点

演奏する際に、歌詞を表示するスクリーンのような物があればよかった。

■乗り越えた方法

事前に歌詞カードを作成し、来場者に配布した。

事業内容⑤を実施する上で工夫した点

特になし

事業内容⑤ 残課題等	特になし
---------------	------